

平成30年度

読書活動推進に係る各校の特色ある取組

実践事例集



平成31年3月

廿日市市教育委員会

平成30年度 読書活動推進に係る各校の特色ある取組 実践事例集

目 次

〈学校名等〉		〈タイトル〉	〈ページ〉
1	廿日市小学校	子どもたちの豊かな心を育む学校図書館を目指して	1, 2
2	平良小学校	児童の望ましい読書習慣の形成を図り、日常生活において読書活動を活発にするための取組	3
3	原小学校	よい本をたくさん読もう	4, 5
4	宮内小学校	本だいすき！宮内っ子	6, 7
5	地御前小学校	本の楽しさを知り、読む習慣を身に付けよう	8, 9
6	佐方小学校	本に親しもう、本を活用しよう	10
7	阿品台東小学校	本に親しみ 自ら学ぶ 阿東っ子	11, 12
8	阿品台西小学校	たんけんしたいな「本の森」	13, 14
9	金剛寺小学校	楽しもう 広げよう 読書の世界	15, 16
10	宮園小学校	本をたくさん読もう	17, 18
11	四季が丘小学校	読書に親しむ児童を育てる	19, 20
12	友和小学校	広げよう！ビブリオバトルで読書の輪	21, 22
13	津田小学校	読書って楽しいな！本っておもしろい！	23, 24
14	吉和小・中学校	読書への興味関心向上	25, 26
15	大野東小学校	本に親しみ、自ら学ぶ子どもを育てる取組	27, 28
16	大野西小学校	本に親しみ、目標は年間一人55冊！	29, 30
17	宮島小・中学校	本ノチカラ	31, 32
18	廿日市中学校	読む楽しさを味わう読書教育を目指して	33
19	七尾中学校	生徒が読書に関心を持ち親しめる取組	34, 35
20	阿品台中学校	「読書習慣を促す取組」と「読書の質を高める取組」	36, 37
21	野坂中学校	「たくさん読む」ための取組	38
22	四季が丘中学校	生徒同士が伝え合う本の魅力	39
23	佐伯中学校	たくさん読もう！図書委員による紹介の活動を中心に	40
24	大野中学校	本を読んで説明する力をつけよう	41
25	大野東中学校	生徒が、かけがえのない1冊に出会えるための取組	42
26	廿日市市教育委員会	平成30年度読書活動に係る取組	43



廿日市市立廿日市小学校

～子どもたちの豊かな心を育む学校図書館を目指して～

取組1 本を読むきっかけの提供

○ヨモヨモチャレンジ(必読図書)

その学年の間に読むとよい本 20 冊を紹介。図書カードに一覧表を貼った。

○様々な図書イベント

- ・ 電車でGO! 図書室へGO! 廿小児童全員で一ヶ月に 4000 冊を目指す。本が 1 冊借りられると、電車が 1 cm 進み、ゴールの宮島を目指す。《結果》8000 冊の貸出があった。
- ・ 七夕抽選会 期間中本を借りると、七夕抽選会応募券がもらえる。校長先生に抽選をしていただき、放送で当選者を発表。3 冊貸し出し券を景品にした。《結果》7600 冊の貸出があった。
- ・ 図書委員おすすめの本くじ・図書おみくじ・ポイントカード・図書ビンゴ・本の福袋



○読書推進委員によるブックトーク

各教科での学習と関連付けたブックトークの実施

(取組の例)

取組	内容
サラダでげんきエプロンシアター (1年)	エプロンシアター、作者の角野栄子さん・長新太さんの本の紹介
目次と索引 (2年)	目次と索引の説明後、実際に図鑑を使って演習
百科事典ポプラディア (3年)	百科事典の使い方の説明後、プリントを使っての演習
新美南吉ブックトーク (4年)	新美南吉さんの本の紹介、ライブラリーナビ
宮沢賢治 (5年)	宮沢賢治さんの本の紹介、ブックトークリスト
読書会「つながりのある本を読もう」(4年)	「つながりのある本」の読書会

○図書ボランティアの活用

- ・ 水・木曜日の朝読書の時間に 1～3 年で図書ボランティアによる読み聞かせを実施。
- ・ 図書ボランティアによるおはなし会を実施。(今年度はブラックライトと狂言のお話等)

取組2 本を読むことの習慣化

○朝読書

週に3日間朝読書を実施

○読書冊数の目標の明確化(年間55冊)

- ・図書オリエンテーションの中で年間目標55冊を確認。図書カードに10冊ごとに印をつけ視覚的に55冊を意識付けた。55冊達成した児童には「達成カード」を渡した。
- ・毎月、読書推進委員による全児童の貸出冊数の報告、クラス別総貸出冊数の報告
→読書への意欲づけ、児童への本の借り換えの呼びかけ

○家庭読書のススメ

- ・図書日より等で、家族での読書を啓発

取組3 読む力の育成

○国語科における並行読書

- ・「読むこと」と「書くこと」・「話すこと」とを関連付けた学習
(例)クイズの作成、紹介カードの作成、本の紹介、リーフレット作り

○総合的な学習の時間、社会科における調べ学習

○子ども司書による活動

- ・1年生への読み聞かせ
- ・おすすめの本のポップ作成・展示

○図書委員による活動

- ・おすすめの本くじ
- ・読書五・七・五の作成・展示



子ども司書おすすめの本のポップ展示

取組4 読書環境の整備

○特別展示コーナー

季節の行事に関する本・ブックトークで紹介した本・先生のおすすめ本などのコーナー
図書委員が作成した季節を感じる掲示物と共に本を展示した。

○配架の工夫

- ・配架の見直しと表示の追加・国語辞典・漢字辞典の箱作成



ブックトークでしようかいした本



先生たちのおすすめの本

廿日市市立平良小学校

～児童の望ましい読書習慣の形成を図り、
日常生活において読書活動を活発にするための取組～



取組1 本を読むきっかけの提供

- 図書委員会の企画イベント
 - ・「しおりコンテスト」、「だれでも3冊貸し出し」(読書週間)、「図書ビンゴ」
- 本の紹介
 - ・図書委員会児童の選んだ低・中・高学年別おすすめの本
(委員会朝会で発表)
 - ・先生からのおすすめ本(図書室に掲示)
- 「子ども読書の日」「古典の日」の取組
 - ・各学級での読み聞かせや本の紹介(図書室でもコーナーを設置して紹介)
- 読み聞かせ
 - ・読書ボランティアグループによる「おはなし会」(月曜日昼休憩)
 - ・保護者ボランティアによる読み聞かせ(金曜日朝の読書の時間)
 - ・読書推進員による読み聞かせ・ブックトーク(図書室利用時)



取組2 本を読むことの習慣化

- 朝の読書…「読書タイム」(月・火・金)
- 学習での活用
 - ・並行読書、調べ学習などでの、学級や学年への図書の貸出
- 年間目標の設定(年間読書目標55冊)
 - ・1回につき2冊の貸出(貸出カードが1枚終わるごとに「しおり」をご褒美)
 - ・月別個人貸出冊数の集計・報告(読書状況の把握)
- 家庭との連携
 - ・「図書だより」(毎月配布)による児童や家庭に向けての図書利用や読書推進の呼びかけ

目標達成児童の名前の掲示



取組3 読む力の育成

- 本を紹介する取組での「書く」「発表する」機会の充実
 - ・読書単元での本の紹介(新聞・ポップ作り)
 - ・図書委員会による本の紹介(ポップ作り・掲示)
 - ・「平良っ子が選ぶ平良っ子のための本の総選挙」…「すすめたい本カード」に自分のすすめたい本の名前と理由を分かりやすく書いて投票(放送で結果発表)



取組4 読書環境の整備

- 学校図書館の充実(掲示物や配架の工夫)
- ・学習単元に関連した資料コーナーの設置、季節を感じるコーナーの設置

廿日市市立原小学校

～よい本をたくさん読もう～

取組1 本を読むきっかけの提供

- ・読み聞かせボランティアや職員による読み聞かせや本の紹介

<毎週火曜日読み聞かせ>

<読み聞かせボランティアのお話会実施>



「子ども読書の日」

「古典の日」

- ・市民図書館のブックトークや昔話の出前の活用
- ・年間読書目標冊数達成児童への表彰
- ・図書委員会児童による本の紹介・図書クイズ・読み聞かせの実施
→毎週金曜日の昼の放送で紹介・図書クイズ

→10月、2月に図書委員会によるイベントの実施（ビンゴ・読み聞かせ）



「図書委員による読み聞かせ」



「目標読書冊数達成の表彰」

取組2 本を読むことの習慣化

- ・全校一斉の朝の読書の実施（月・水曜日）
- ・毎週金曜日の2冊デー
週末は2冊借りて持ち帰り、家でも読書の習慣化を図る
- ・読書活動推進員による月1回の「図書館だより」の発行
読み聞かせや出前講座で出された本や新刊を紹介し、家庭での読書の推進を図る
- ・毎月第4金曜日の移動図書館（たんぼぼ号）の活用
入学時に、市民図書館の図書カードを作成
昼休憩に本の返却・貸出
前の週・前日・当日に、図書委員が放送でお知らせ

取組3 読む力の育成

- ・各教科での調べ学習や単元後の読書活動で図書室を利用
 - 読書活動推進員と連携し、学習に必要な本をそろえ、レファレンスを実施
- ・学校で読書冊数の目標を決めて読書量を増やす取組
 - 冊数の表、読書ノート、表彰など
- ・お薦めの本の帯製作
 - お薦めの本の帯を製作し、図書室に展示
 - 本の帯には、お薦めの場面や文を紹介することで、物語の要点をつかむ力を育んだ。



<児童が作成した本の帯>

- ・行事や朝会での発表の機会
 - 全員に発表の機会を確保し、それに向けて必要な本を読んだり調べたりして準備を行う

取組4 読書環境の整備

- ・各コーナーの設置

<新刊コーナー>



<季節の本のコーナー>



<テーマにあわせた本のコーナー>



<おすすめの本の紹介の木>



<種類別の本の配架>



<絵本を作者ごとに配架>



- ・床に座ってゆったり読書できるカーペットスペースの設置
- ・情報が古い本や、傷みがひどい本の廃棄

廿日市市立宮内小学校

～本だいすき！宮内っ子～

取組1 本を読むきっかけの提供

・「はつかいちおすすめの本201冊」のコーナー作り，展示，紹介

・「子ども読書の日」の取組

図書委員によるおすすめの本の紹介

・「読書週間」「古典の日」の取組

①教科書に出てくる本（必読図書）による読書チャレンジ

読書チャレンジとは，期間中，コーナーにある本を4冊読み，本の題名，感想を記入した用紙を提出すると，図書ポイントカードのスタンプを2つ押す取組。

②昔話の本，古典の本による読書チャレンジ

・地域の読書ボランティアの活用による，毎週1回読み聞かせの実施。



取組2 本を読むことの習慣化

・全校一斉の朝の読書

・年間一人55冊を目標に掲げての取組

①学期ごと，学年ごとに読書数が多い児童の表彰

②休みごとにも本の貸し出しを行い，宿題の一部に読書を入れることによる保護者への啓発

③図書カードにつけている，ポイントカード1枚達成ごとに，しおりのプレゼント

④学年ごとにポイント2倍デーの実施

⑤図書委員による児童朝会でお勧めの本の紹介や休み時間でのエプロンシアターや紙芝居の実施



取組3 読む力の育成

- ・各教科などで自分の考えを持たせる授業の実施。
そのため、自分の考えを「書く」時間、考えを「発表する」機会をもたせる。
- ・子ども司書専用のコーナーを設置し、おすすめの本のPOP（ポップ）を作成し、掲示する。



取組4 読書環境の整備

- ・ 掲示物や配架の工夫
- ①毎月、おすすめの本の紹介
 - ②図書室に入荷してほしい本のアンケートを行い、結果の公表
 - ③十進分類法の説明や掲示
 - ④修理ボックスの設置



廿日市市立地御前小学校

～本の楽しさを知り、読む習慣を身に付けよう～

取組1 本を読むきっかけの提供

- ・「子ども読書の日」は、春のオリエンテーションとして、図書館のマナーや利用・貸し出しの方法や、十進分類法について指導した。本の紹介や読み聞かせも同時に行った。
- ・「古典の日」は、学校全体として俳句作りに取り組んだ。図書室では、季語や俳句の作り方のポイントなどを掲示して、俳句の本コーナーを設けた。
- ・低学年は、毎週の図書の時間に、読み聞かせや、ストーリーテリング、アニメーション、本の紹介を行った。
- ・毎月、「図書だより」を発行し、ビンゴやスタンプラリーなど図書室イベントのお知らせや新刊情報を発信した。
- ・全職員におすすめの本を尋ね、紹介してもらった。
- ・毎週金曜日の朝に、図書ボランティアが、各クラスで読みきかせを行った。今年度は募集をかけたため、ボランティアの方が増え、高学年にも読み聞かせをすることができた。
- ・市民図書館の「昔話の出前」に来て頂き、ストーリーテリングで昔話を楽しんだ。

取組2 本を読むことの習慣化

- ・毎朝10分間の朝読書の時間を設けており、静かに読書を行っている。
- ・55冊の目標を達成した児童の名前を廊下に掲示し、全員達成を意識させた。また図書カードに数字を打ち、毎回自分の読書数が目で見て分かるようにした。
- ・学期に一度、「元気っ子カード」の中で、読書の取組もあり、親子で一緒に読む、児童の読書を保護者に聞いてもらうなどを目標にしている。

取組3 読む力の育成

- ・図書委員会やクラスでPOPカードの作成をした。各クラスで書いた本の紹介カードをその本と一緒に展示することで、よく読まれるようになった。
- ・図書クイズを作成し、図書室の本を読むことで答えが分かるようにした。その本を探す力と、目次などを利用して必要なページを読む力の練習となった。



本の紹介
～この本おもしろいよ～

取組4 読書環境の整備

- ・ 季節の行事や学校行事・授業と関連する本の展示コーナーを設け、必要なときに必要な本を手に取りやすくしている。「新刊本」「命の大切さを考える日」「修学旅行」「お正月」「働く犬」など。
- ・ 図書室前廊下に、毎月楽しい展示を行い、図書室に入りやすい環境作りを行った。



季節の行事に合わせた掲示

廿日市市立佐方小学校

～本に親しもう、本を活用しよう～

取組 1 本を読むきっかけの提供

- ・読書活動推進員や読み聞かせボランティアによる読み聞かせ
→隔週火曜日の朝の読み聞かせや、学期末の読み聞かせを実施
- ・図書委員や放送委員による読み聞かせ
→昼休憩や給食時間に読み聞かせの実施
- ・秋の読書まつり実施（読書活動推進員と図書委員会主催）
→本の総選挙や本の頭文字によるスタンプラリーを通して、
様々なジャンルの本に触れ、興味の幅を広げるための取組
- ・広島県立図書館の本の貸出事業の活用
- ・「新刊図書」「季節・行事の本」「古典の日」コーナーの設置
- ・「子ども読書の日」では、担任による読み聞かせを実施
- ・読書活動推進員による「図書だより」の発行



「子ども司書」おすすめの本



「佐方の本 総選挙」の取組

取組 2 本を読むことの習慣化

- ・毎週、月・火・木は10分間の朝読書
- ・読書名人認定・掲示の取組
→読書名人（60冊）、読書達人（120冊）、読書鉄人（180冊）、
読書超人（240冊）、読書仙人（300冊）
- ・図書カードの工夫
→目標冊数や学期毎に読んだ冊数の見える化



好きな登場人物紹介カード

取組 3 読む力の育成

- ・各教科の調べ学習等で図書館の活用を推進
- ・読書活動推進員による選書等の授業支援

取組 4 読書環境の整備

- ・新書、昔話、古典の日コーナー等の設置
- ・図書委員おすすめの本紹介コーナーの設置
- ・季節の本の展示コーナー設置
- ・児童が記入した、好きな登場人物の紹介カードの掲示
- ・保護者に向けて、古本提供の呼びかけ
→提供していただいた古本については、
各学級文庫に配分



季節の本 展示コーナー

廿日市市立阿品台東小学校

～本に親しみ 自ら学ぶ 阿東っ子～

取組 1 本を読むきっかけの提供

- ・ 推薦図書を紹介 廿日市おすすめの本 201（はつかいち）について、図書室に既存の本と無い本を調べ、無い本を購入する。シール

はつかいち 201

 を本に貼り、図書室へコーナーを作りリストを拡大し一緒に展示・図書だよりで紹介する。
- ・ 「子ども読書の日 4/23」の取組
朝読書の時間に担任及び、読書活動推進員による読み聞かせを行う。
ポスター作製（校内・図書室展示）・図書だよりの掲載を行う。
- ・ 「命の大切さについて考える日 5/8」の取組
昼休憩に読書活動推進員が放送し図書室で読み聞かせを行う。
ポスター作製（校内・図書室展示）・図書だよりの掲載を行う。
- ・ 「古典の日 11/1」の取組
11/1に「古典の日」の由来について昼休憩に読書活動推進員が放送を行い、図書室で古典の読み聞かせを行う。
古典の本コーナーを設ける。図書便りに古典クイズを掲載し正解者には手作りしおりをプレゼントする。
ボランティアの方々にも古典関係の本の読み聞かせをお願いする。
- ・ 読書ボランティアの活用
朝読書の時間に地域のボランティアの方々と読書活動推進員による読み聞かせを行う。
- ・ 読み聞かせ
毎月第二火曜日を「きらり読書の日」とし、昼休憩に読書活動推進員が放送で呼びかけ、家庭でも「ノーテレビ・ノーゲームの日」として読書を勧め、図書室のたたみコーナーで読み聞かせを行う。
水曜日の昼休憩に担当を決め、図書委員会児童による読み聞かせを行う。
- ・ 読書ビンゴ開催
ビンゴカードを作製し、分類別に指定した本を貸し出す。
ビンゴになった児童には手作りしおりをプレゼントする。
- ・ 読書名人の木の作製
秋の読書週間に多読（4月～読書冊数合計）の児童をりんごに記入し図書室前廊下に掲示し、紹介する。
- ・ 図書だより
毎月発行
- ・ 多読の児童表彰
学年ごとに年間多読の児童（1位～3位）に朝会で賞状を渡す。

取組2 本を読むことの習慣化

- ・全校一斉朝読書（毎週2回）の取組
- ・図書室文庫 各クラスに年間通じて人数分(30～40冊)のおすすめの本を専用ケースに入れ、本を貸し出す。約一ヶ月ごとに文庫をクラス交換する。

取組3 読む力の育成

- ・本を紹介する取組 「読書ゆうびん」を行う。全校児童がピア・サポートで活動している相手や届けたい友達や先生へ、おすすめの本をはがきに記入し、ポストへ投函し、図書委員会児童が配達する。図書だよりで作品を紹介する。
- ・図書委員によるおすすめ本のPOP作製・展示
- ・「書く」「発表する」機会の充実
 - ① 百科事典の引き方（全学年対象…学年に添った内容で）のオリエンテーションを行う。
百科事典の専用紙芝居で各名称・引き方を説明後、実際に各自に1つ問題カードを出題し、調べさせ報告書に記入させる。
 - ② 本の分類についてのオリエンテーションを行う。
本の分類の専用紙芝居で説明後、児童に多数のカードを用いてなかまわけの発表をさせる。
- ・自分の考えを持たせる取組
図書委員会児童が「いじめ防止月間」にいじめに関する本を読み、感想を書いてそれらの本と一緒に図書室へ展示する。

取組4 読書環境の整備

- ・学校図書館の充実（掲示物や配架の工夫）



「はつかいちおすすめ本201」
201（はつかいち）冊）コーナー



「読書名人の木」



「古典の日」



「読書ゆうびん」



「季節に応じた本の展示」



「いじめ防止月間の取り組み」

廿日市市立阿品台西小学校 ～たんけんしたいな「本の森」～

取組1 本を読むきっかけの提供

〈読書ボランティアによる読み聞かせ〉



- ・「子ども読書の日」には、学年別読み聞かせを実施。
- ・朝の時間に各クラスで読み聞かせを実施。
- ・月2回、昼休憩に読み聞かせを実施。
- ・西小まつりの時に、ブラックライトシアターを実施。

〈図書委員によるスペシャルウィーク〉



- ・学期に1回、お薦めの本を借りた児童はくじを引き、手作りのしおりや予約貸出券をもらえるイベントを実施。

取組2 本を読むことの習慣化

〈読書達人〉



- ・100冊図書室の本を読んだ人を校内放送で紹介するとともに、図書室に名前を掲示。

〈貸出冊数の把握〉

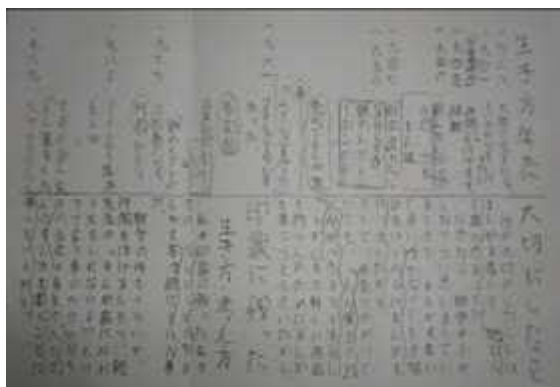
- ・毎月、児童一人一人が何冊借りているかを一覧表にまとめ、担任が把握して不読の児童へ取組を実施。

〈図書室便りの発行〉

- ・児童と保護者に対して、新刊図書・お薦めの本・イベント・行事等を紹介する図書室便りを配布。

取組3 読む力の育成

〈伝記を読んで感想文を書こう「手塚治虫」5年生〉



- ・手塚治虫や興味をもった人物の伝記を読み、取り上げられている出来事から人物の生き方について考えたことをリーフレットにまとめた。

取組4 読書環境の整備

〈季節のコーナー〉



- ・図書室の入り口に、季節ごとに関係のある図書を掲示。

〈先生のお薦めの本〉



- ・教職員のお薦めの本をコメントと一緒に掲示。



〈職員図書〉

- ・職員室の入り口に、職員用の図書を整理。

廿日市市立金剛寺小学校

～楽しもう 広げよう 読書の世界～

取組1 本を読むきっかけの提供

○「子ども読書の日」の紹介

- ・読書に親しむことの大切さをポスター掲示等で伝え、読み聞かせボランティアの第1回の読み聞かせを行う。

○「おすすめの図書」の紹介

- ・季節や行事に合わせた図書、普段なかなか手にとってもらえない図書、おすすめの図書を図書委員会発行の図書新聞で紹介する。

○市民図書館による出前授業

- ・1, 2, 5, 6年生は昔話の出前授業, 3, 4年生は, ブックトークボランティアに来て頂き, 使用した図書の貸出を利用する。

○図書委員会の読み聞かせ

- ・火曜日の昼休憩に, 図書委員会でお話し会を行う。カードにスタンプを押していっぱいになったら, 手作りのしおりをプレゼントする。

○「おはなしたまてばこ」

- ・教職員が児童に読み聞かせたい本を選んで読み聞かせをする。

○「どんどん読もう!金剛寺っ子ブックス」

- ・各学年の国語の教科書に掲載されている本, 廿日市おすすめの本201冊から各学年20冊を選定する。
- ・20冊を達成した児童は校長先生から表彰状を受け取り, 図書室前に名前を掲示する。



取組2 本を読むことの習慣化

○朝の読書タイム

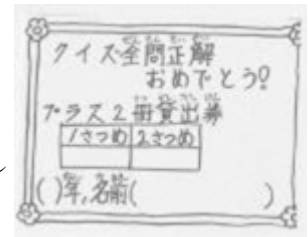
- ・毎週火曜日と木曜日の朝に15分間の読書タイムをとる。特に木曜日には, 低中高学年で3~4学年ずつ, 順番にボランティアによる読み聞かせを行う。

○図書委員会の活動

- ・図書の貸し出しや返却がスムーズにできるよう, 窓口の仕事や書棚の整理をする。
- ・しおりを手作りし, 図書の貸出数が55冊に達成したときにわたす。



- ・学期ごとに賞状を作って、図書を多く借りた人を表彰する。
- ・「秋の読書まつりクイズ」「マーク探し」といった活動で、多様な図書を読む機会を作る。
- ・達成者を掲示物や図書新聞等で紹介し、手作りのしおりや2冊貸し出し券をプレゼントする。



- 「親子読書」の取組
 - ・親子読書について紹介し、取組後の感想を掲示して紹介する。

取組3 読む力の育成

○教科との関連

- ・本を読み、心に残った場面や文章から感想文を書いたり帯を作ったりして交流する。
- ・国語科や総合的な学習の時間での調べ学習で多様な図書を活用して資料を集め、整理して意見文を書いたり新聞を作ったりする。
- ・読んだ本を参考にして物語を作り、図書室に置いて他学年に読んでもらう。
- ・国語科で学習する教材文に関連する図書を学級文庫に置き、並行読書ができる環境を整える。



取組4 読書環境の整備

- 図書室につながる階段や、入り口や図書室内に季節に合わせた物を展示し、それに関連する図書を置く。また、子ども新聞を掲示し、新しい情報や様々な分野に興味に向く意欲を持たせる。
- 書棚の整理を行い、古い図書を廃棄したり必要な新書を購入したりする。
- 学級図書を見回り、古い図書を廃棄したり必要な図書を図書室から学級文庫に貸し出す。



廿日市市立宮園小学校

～本をたくさん読もう～

取組 1 本を読むきっかけの提供

① 「古典の日」の取組について

1月1日の大休憩に中庭で「したきりすずめ」の読み聞かせを行い、古典に関する本の展示もした。また、朝の読み聞かせの時間に、読書ボランティアの方に昔話の読み聞かせをしていただいた。



② 読書ボランティアによる本の読み聞かせについて

毎週水曜日8時30分から8時40分の10分間、各学級で実施している。12月のクリスマス会では、体育館で「とのさまサンタ」の読み聞かせとハンドベルの演奏をしていただいた。



③ 図書委員会による本の読み聞かせについて

図書委員が朝の読み聞かせの時間に、1年生から3年生までのクラスに出前で読み聞かせに行った。

取組 2 本を読むことの習慣化

① 日常的かつ継続的な取組について

各学級、朝の読書を継続して行っている。

毎週月・木曜日の8時30分から8時40分の10分間行っている。

② 読書マラソンカレンダーの取組について

2月に「読書マラソンカレンダー」に取り組んだ。学校で朝読をしたら1点、家に帰って家読をしたら2点、朝読と家読をしたら3点、土曜日・日曜日・祝日に家の人と一緒に読書をしたら5点、カレンダーに点数を書き込んだ。



取組 3 読む力の育成

① 本を紹介する取組について・・・図書委員会の活動

図書委員の児童一人一人が、おすすめの本を選んでポップを作り、図書室に本と一緒に置いた。



②「書く」「発表する」機会の充実について・・・各学年の取組

国語科や総合的な学習の時間などの授業において、図書室の本を活用して学習をしている。

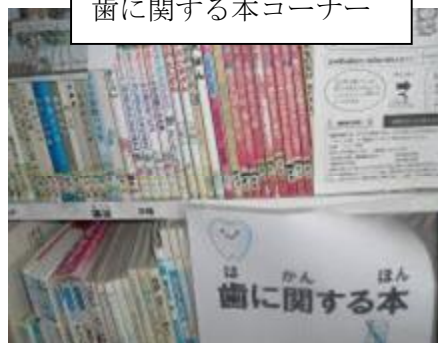
- 1年：国語科「いろいろなふね」の学習で、お気に入りの乗り物について本で調べて、「やく目」「つくり」「できること」について「のりものカード」にまとめた。
- 2年：国語科「ビーバーの大工事」の学習で、ビーバーや他の生き物の巣作りについて調べて、ワークシートにまとめて発表した。
- 3年：総合的な学習の時間「心のバリアフリーをもとめて」の学習で、点字や手話、バリアフリーについて書かれている本を読み、リーフレットにまとめたりグループ発表をしたりした。
- 4年：国語科「くらしの中の和と洋」の学習で、衣食住に関わる「和」について書かれている本を読み、「洋」と比較した文章を書いた。
総合的な学習の時間「地球を守れ！リサイクル大作戦」の学習で、環境に関する本を読んで調べ、リサイクル新聞など環境に関わる新聞を作成した。
- 5年：国語科「手塚治虫」の学習で、いろいろな人物の伝記を読み、読書感想文を書き友達と交流した。
- 6年：国語科「プロフェッショナルたち」の学習で、職業に関する本を読み、文章にまとめた。
社会科「日本とつながりの深い国々」の学習で、外国の文化について調べ、新聞にまとめた。

取組4 読書環境の整備

平和の本コーナー



歯に関する本コーナー



命の大切さについて考える本コーナー



読書感想文の書き方コーナー



廿日市市立四季が丘小学校 ～読書に親しむ児童を育てる～

取組1 本を読むきっかけの提供

- 教科書に載っている本（国語の教科書に紹介されている本）のコーナーを作成し、単元ごとの貸出・紹介等を行った。
- 「子ども読書の日」と「古典の日」にちなんだ読み聞かせを行った。4月「子ども読書の日」はボランティアの方とクラス担任による読み聞かせを、10月「古典の日」はクラス担任の学年・組を入れ替えての読み聞かせを行った。
- 1年生～3年生に市民図書館の「昔話の出前派遣事業」を活用した。
- 毎週木曜日の「朝の読み聞かせ」及び毎月第2水曜日・昼休みの「お昼のお話会」をボランティアの方を中心に実施。
- 低学年及び特別支援学級の図書の時間に、読書活動推進員による図書室蔵書から選書した読み聞かせ・ブックトークを行った。
- 時節や学習内容に合わせて特別展示を行った。
- 図書委員の作成したおすすめの本ポップ・おすすめの本を展示紹介。
- 職場体験で来校した四季が丘中学校の生徒作成のポップ・おすすめの本の展示紹介。
- 廿日市市認定の廿日市おすすめの本201冊の展示。
- 学期ごとに図書まつりを開催。
1学期・6月「図書くじ」、2学期・11月「図書室読書ビンゴ」、
3学期・2月「クイズ」を行った。



朝の読み聞かせ



時節に合わせた特別展示コーナー



図書委員による図書祭りの告知

取組2 本を読むことの習慣化

- 本の個人貸出冊数を1回1冊・1日2冊までから1回2冊・1日4冊まで貸出へ。
- 個人貸出用のカードをノート型の「図書室読書ノート」へ変更。ノート型にしたことで、読書目標を立てることが容易になった。
- 毎週木曜日の一斉朝読書の取組（ボランティアの方の読み聞かせのないクラスで行った）

●図書室だよりの発行。新しい本の紹介・月ごとの展示コーナーの紹介、図書の利用方法・イベント等を掲載。

●年間1人55冊の貸出を目標に、20冊貸出ごとに「図書委員手作りのしおり」を、55冊達成者には「55冊達成カード」と「55冊達成特別しおり」を進呈し、

図書室入口上部窓に名前入りの花を掲示した。視覚に訴え、より深く達成感を得られるように、55冊・100冊・150冊達成ごとに絵柄を変更した。



図書室読書ノート。60冊まで記入可能

取組3 読む力の育成

●国語科の教科書と連動し、教科書に紹介されている本（「〇年生の本だな」として各学年の教科書に掲載されている本）を各クラスに配布し、運用した。専用の読書カードを作り、児童に読書推進をした。

●図書委員がおすすめの本のPOPを作成し、図書室内に掲示した。

●子ども司書による1年生への読み聞かせを行った。

●3年生国語科学習により作成されたPOP（図書室蔵書から作成）を図書室内に掲示した。

●1年生国語科学習により作成されたPOP（大好きな絵本のPOP）をゆめタウン廿日市内の紀伊国屋書店にて掲示していただいた。



1年生作成 POP。紀伊国屋書店廿日市店にて掲示



3年生作成

取組4 読書環境の整備

●年に2回PTA文化委員の方による図書室内本棚の整理、図書室

の蔵書の廃棄処分等の作業協力をいただいた。

●図書室の掲示物や配架の工夫。近隣のイベント等のポスターやチラシを張り、児童の文化的興味の促進をはかった。

●NDC・分類ラベル等を新たに作り掲示した。

●調べ学習室に保管分の蔵書の整理・処分を行った。



右上下写真) 教科書に則したNDC表と分類掲

廿日市市立友和小学校

～拡げよう！ビブリオバトルで読書の輪～

取組1 本を読むきっかけの提供

- ・「子ども読書の日」のイベントとして教職員によるビブリオバトルを行う。
→学校全体でビブリオバトルが周知され、図書委員会の活動や、児童によるビブリオバトルが開催されるようになった。
- ・「古典の日」について群読発表会で、3年生と5年生が「古典の日」にちなんだ発表を行う。
→全校生徒の中で古典の日の認識が深まる。図書室では「昔話検定と昔話クイズ」を行い、たくさんの古典作品に触れることができた。
- ・毎週水曜日は、読書ボランティア「ポエム」さんの読み聞かせが行われる。
→今年度より、図書委員会の児童も読み聞かせに参加して活躍している。



<子ども読書の日ビブリオバトル>



<ポエムさんによる読み聞かせ>

取組2 本を読むことの習慣化

- ・読書ポイントカード
- ・年度末に貸出冊数の多い児童を表彰しているが、冊数だけではなく、「読書の質」「返却日を守る」「読書イベントへの参加」などでも評価できるツールとして利用。(例：ビブリオバトル参加で2ポイントなど) 葉のプレゼントや、本を予約できる特典を与えることで、それを励みに図書室に通う姿が見られた。
- ・10月の1ヶ月間、各クラスにて「リレー読書」を実施。朝の読書タイムと給食準備中などを利用してクラスで同じ本を共有した。
- ・授業中、課題の終わった児童へ読書タイムを設けている。

読書ポイントカード				
1+	2+	3+ 「読書の日」 「読書」	4+	5+ 「読書の日」 「読書」
6+	7+	8+ 「読書の日」 「読書」	9+	10+ 「読書の日」 「読書」
11+	12+	13+ 「読書の日」 「読書」	14+	15+ 「読書の日」 「読書」
16+	17+	18+ 「読書の日」 「読書」	19+	20+ 「読書の日」 「読書」
21+	22+	23+ 「読書の日」 「読書」	24+	25+ 「読書の日」 「読書」

【読書ポイントの仕組み】

- ① 10冊貸出：1ポイント
- ② 50冊貸出：2ポイント
- ③ 100冊貸出：3ポイント
- ④ 100冊以上、50冊以上：1ポイント
- ⑤ 読書イベントに参加したとき 1ポイント
(図書委員会の活動に参加したとき、また読書イベントに参加したとき)
- ⑥ クイズイベントの参加 読書ポイント1ポイント

取組3 読む力の育成

・ポップの作成&本の紹介

5年生の授業で、また図書委員会の活動として、本のポップを作成。

委員会朝会では、『まほうのじどうはんばいき』の本をアイディアに、劇仕立てで本の紹介をした。

・ビブリオバトル

図書委員会で、ワークショップ型のビブリオバトルを開催。

図書室で「子どもビブリオバトル」を定期的で開催。

→ビブリオバトルに出たいという意欲で、本を深く読み、本と向き合う事ができる。

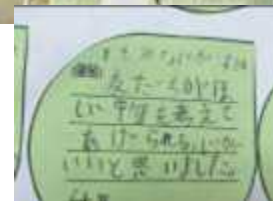
・課題図書を読んで感想を書こう！

「青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書を読み、書いて感想を書く。

取組2で行っている読書ポイント付与と関連させることで、多く読まない本にチャレンジし、短い感想を書くことでその本への理解を深める。



取ら



<委員会朝会での本の紹介>

<ビブリオバトルの様子>

<課題図書を読んだ感想>

取組4 読書環境の整備

・学習中の単元に関連した本を、廊下または教室に展示することで、児童が本を手にする機会を増やす→普段は自分では選ばないような本を読むことで、読書の幅が広がる。

・季節やイベントに合わせたコーナー作り。

→ビブリオバトルで紹介された本、本の福袋企画、新しい本コーナーなど。

・学年毎に国語の教科書で紹介されている本を集めた本棚を図書室に設置し、学年ごとに色の違うシールをつけて分類している。



廿日市市立津田小学校

～読書って楽しいな！本っておもしろい！～

取組 1 本を読むきっかけの提供

・絵本の読み聞かせ

こども読書の日によせて，昼休憩に図書室で図書委員会の子ども達と一緒にパペット人形を使って「おまえうまそうだな」の絵本の読み聞かせを行いました。



・読書ボランティア「絵本のとびら」によるパネルシアター

古典の日に読書ボランティア「絵本のとびら」の方と一緒に，佐伯の民話の中から「怪力角丹坊主」のパネルシアターを行いました。

取組 2 本を読むことの習慣化

・朝の読書タイム

毎週，月・火・木曜日の8時20分から8時30分の10分間が「朝の読書タイム」です。教室で各自が読みたい本と向き合って静かに読んでいます。

・図書委員会の活動

多くの児童が図書室に来室したくなるように「あじさいまつり」「読書まつり」などのイベントを企画しました。また，児童朝会で「はらぺこへびくん」のペープサートを発表しました。

・図書室便りの作成

本の内容を盛り込んだ新刊の紹介をしています。

取組3 読む力の育成

・図書委員会によるおすすめの本の掲示

図書委員がおもしろいと感じた本を紹介するコーナーを作って、全学年の児童が、その本を手にとって読んでみたいと思えるように仕組みました。紹介された本を借りる児童が増えています。図書委員以外の児童も、自主的に紹介コーナーに文と絵を描いています。



紹介したい本の横に図書委員の児童が描いた本の紹介文を置いています。

取組4 読書環境の整備

・図書室の環境整備

図書室は季節ごとに掲示を変え、季節感が味わえるようにしています。また、本を探しやすいように、コーナーをわかりやすく表示するなどの工夫もしています。

図書室では、学年ごとにおすすめの本をまとめたり、国語の学習をリンクさせて言葉やことわざに興味がわくような展示をしたりして、どんな本を読んだらいいか迷っている児童の助けとなるように工夫しています。

10月の終わりごろには古典コーナーを設けて本の紹介をしました。



廿日市市立吉和小・中学校

～読書への興味関心向上～

本校は、小中一貫教育推進校であり、小中学生が同じ校舎で生活しています。そして、中学生のリードのもと、一緒に委員会活動を行っています。協力して日々の仕事や啓発活動を頑張っています。

取組 1 本を読むきっかけの提供



「子ども読書の日」

子ども読書の日取組として、本の読みきかせを実施しました。

『100かいだてのいえ』の大型本を活用し、昼休憩に全校児童生徒を対象に読み聞かせを行いました。

【工夫】

- ・聞いている人が分かりやすいように、声を大きくしたり、絵に指をさしたりする工夫をしました。



緊張したけど、みんなが夢中で聞いてくれて嬉しかったです。

「古典の日」

古典の日の取り組みとして、全校児童生徒で百人一首のカルタとりを実施しました。

【工夫】

- ・全員が参加できるようにチームを組み、各チームから一人ずつ出て、読み手の発声でカルタが取れるようにしました。
- ・小学校1年生から中学校3年生までがカルタを取れるように送り仮名をふった大きなカルタで行いました。

取組2 本を読むことの習慣

「一斉読書」

毎朝10分間全校児童生徒で読書を行っています。

【工夫】

児童生徒が本を選びやすいように廊下に本棚コーナーを作る工夫をしています。

取組3 読む力の育成

「読み聞かせ」

毎月1回図書文化委員でおすすめ本を持参し、朝の読書の時間に読み聞かせを実施しています。

【工夫】

終了後は本の紹介カードを作成し、おすすめ本として、本とともに多目的ホールに掲示し、手にとって読んでもらえるように工夫しました。



二人で協力して声の大きさを意識したり、息を合わせたりしました。

取組4 読書環境の整備

「本の整理と管理」

壊れた本や破れた本の修復を行いました。

【工夫】

- ・委員会の活動として行っています。本を整理することで本への興味関心を少しでも高めることを意識しています。

廿日市市立大野東小学校

～本に親しみ、

自ら学ぶ子どもを育てる取組～



取組1 本を読むきっかけの提供

○イベントを通じた読書活動の普及・充実

- ・「古典の日」に合わせ、図書室内に特設展示スペースを設け、古典文学に親しみやすい環境づくりに取り組んだほか、季節の行事に合わせた本の展示スペースを常設化した。また、低学年を中心に、読書活動推進員による絵本の読み聞かせを行った。
- ・読書週間に合わせ、教職員におすすめの本のアンケートを取り、お薦めの一言と共に表にして図書室内に掲示し、本を読むきっかけ作りをした。



○地域との連携

- ・毎週水曜日と金曜日の朝の帯時間に読書ボランティアによる読み聞かせを実施している。夏休みには、ボランティアメンバーと教職員とで情報交換をし、児童の実態に合った読み聞かせの内容になるよう、連携を図っている。
- ・司書教諭が連携を取り、低学年を中心に、学期に1回ずつ、保護者ボランティアによる読み聞かせやブラックシアターを実施している。



○図書だよりの発行

- ・読書活動推進員が、月に1回程度、本の紹介やイベントを知らせる図書だよりを発行した。読書のよさを紹介したり、新しく入った本の紹介をしたりすることで、読書意欲を高める工夫をした。

取組2 本を読むことの習慣化

○全校一斉読書の実施

- ・給食配膳中と食後に読書タイムを設定している。読書タイムの間は音楽を流し、落ち着いた雰囲気の中で読書に取り組む習慣をつけさせている。

○貸し出し冊数を増やす工夫

- ・秋の読書週間の催しとして、図書委員が中心となって「図書まつり」を計画し、次のような取組を行った。

《図書室ミッケ》

図書室になかなか来室しにくい児童のために、まずは、図書室に来てもらえるようにと、図書室の中に暗号を隠し、全部見つけると、言葉になるというゲーム的要素を取り入れた取組。低学年でも参加しやすく、初日は100人を越える来室者数であった。

《読書ビンゴ》

いろいろなジャンルの本が読めるように、分類記号を記入したビンゴカードを使用した。図書委員の発案で、ビンゴになると好きなしおりとりボンを選ぶことができ、自分でオリジナルのしおりを作ることができるようにした。

《おみくじ》

図書まつり期間の2週間は、本の貸出時におみくじがひけ、大吉が出れば2冊貸し出し券がもらえるようにした。本を借りるたびに楽しみがあり、図書まつり期間は学校全体の貸出冊数が増加した。



- ・年間読書目標冊数を55冊とし、司書教諭と読書活動推進員が連携し、読んだ冊数に応じて「しおり」や「賞状」を渡している。55冊達成者は、児童玄関前廊下にある掲示板の、「読書の木」にできるりんごに名前が記される。
- ・図書委員の活動の一つとして、それぞれの学年に向けたポップ作りをした。ポップを見て、読書の幅を広げるきっかけ作りをした。

取組3 読む力の育成

○図書委員の取組

- ・学期に1度、図書委員による季節に合わせた読み聞かせを行っている。
- ・長期休業前の貸出に合わせて、図書委員お薦めの本の紹介ポスターやポップを作成し、本のおもしろさを伝える工夫をした。



○放送委員の取組

- ・昼の給食放送の時間に、図書室にある本を使って読み聞かせを行っている。放送の最後には、読み聞かせた本の内容からクイズを出し、楽しみながら本の内容を知ることができる取組を行っている。

○子ども司書養成講座への参加

- ・今年度は6年生2名が、子ども司書養成講座へ参加した。講座で学んだことを活かし、司書教諭の指導の下、図書委員と一緒にカウンター業務を行ったり、読み聞かせをしたりした。

○本を紹介する取組

- ・5年生が、国語科の時間に、宮沢賢治の作品を紹介する本のポスターや伝記を紹介する本の帯を作成し、図書室前の廊下に掲示した。
- ・図書委員や子ども司書、読書クラブの児童が作成した本のポップを配架場所に合わせて掲示した。

取組4 読書環境の整備

○各学年おすすめ本の展示

- ・読書活動推進員が選んだ各学年の推薦図書にはシールを貼り、児童が手に取りやすい場所に配架した。

○市民図書館との連携

- ・本校は児童数が多いため、国語科や総合的な学習の時間の調べ学習に合わせて、はつかいち市民大野図書館から本を借りている。特に地域教材を扱う総合的な学習の時間の資料は、はつかいち市民大野図書館に資料がそろっており、相談にも乗っていただくことができるので、多くの学年がはつかいち市民大野図書館を利用している。

○学級文庫の工夫

- ・児童数が多いため、休憩時間のカウンターには長い列ができてしまうこと、また本が少ないのが本校の課題である。そのため、図書室のみならず、身近にも本がある環境作りとして、学級文庫の充実を図っている。譲り受けた本や、図書室から廃棄となった本などを学級文庫へ配架している。学級文庫の本は学年間で交換し、いろいろな本が読めるよう工夫している。

廿日市市立大野西小学校

～本に親しみ、目標は年間一人 55 冊！～

取組 1 本を読むきっかけの提供

- 「子ども読書の日」には、年間一人 55 冊借りて読むという目標を達成するよう呼びかけて読書への意欲づけを行うとともに、図書委員会の児童が各教室に分かれて読み聞かせを行った。
- 毎週火曜日の朝の読書の時間に、地域ボランティアによる読み聞かせを全クラスで実施。学年や季節に合わせた絵本や紙芝居を読んでもらった。
- 市民図書館が募集した「ブックトークボランティア派遣事業」を 3 年生が、「昔話出前派遣事業」を 1 年生が、それぞれ活用させてもらい学習した。
- 「古典の日」に向けて、古典の本を新しく 33 冊購入し展示した。また、「図書だより」や図書室の掲示物で「古典の日」を紹介した。
- 図書委員がおすすめの本のポップを作成し、展示した。



取組 2 本を読むことの習慣化

- 毎週月曜日と水曜日、朝会のない週の木曜日の朝の 10 分間、全校一斉に読書タイムを実施した。
- 読書活動推進委員が「図書だより」を発行し、児童・保護者への啓発活動を行った。
- 年間一人 55 冊借りて読むという目標に向けて、一人 2 冊まで貸出を行った。毎月、月末に、児童の貸出冊数（個人が借りた本の数）の一覧表を各学級に配布した。
- 「家庭学習やりきり週間」に全学年が読書の項目を入れ、教科書の音読や本を読むことに取り組んだ。
- 1 年生、2 年生の担任が、常に図書室へクラスの児童を連れて来て、本を読むようにした。

取組3 読む力の育成

- 1年生の国語「むかしばなしをたのしもう」では、日本の昔話を読んで面白かったところを「おはなしカード」に書いて交流した。
- 図書委員会の読書月間（11月）の取組
 - ① 図書委員会でテーマを決め、そのテーマに合った絵本や本を図書委員が選び、朝会で紹介した。
 - ② 読んでほしい本のジャンルを記入したビンゴカードを作成し、「読書月間ビンゴ大会」を実施した。
 - ③ 読書月間終了後、図書室の本を多く借りて読んだ児童（各学年3位まで）に図書委員が賞状を作成して渡したり、給食時間に放送したりした。



取組4 読書環境の整備

- 図書の案内板を低学年から教職員までわかりやすいように、読書活動推進委員が作りかえた。また、案内板を児童の目線に合わせて掲示し、統一感をもたせるようにした。
- 学級文庫を充実するため、教職員や保護者に学級文庫用の書籍を持って来てもらうようお願いしている。



廿日市市立宮島小・中学校 ～本ノチカラ～

取組1 本を読むきっかけの提供

○様々な図書イベントを行った。

4月 図書クイズ	5月 図書双六	6月 図書釣り	7月 七夕葉作り
9月 赤白本	10月 図書ビンゴ	11月 ポップアップ コンクール	12月 クリスマス プレゼント本
1月 廃棄本 プレゼント	2月 ペアペア本		



- 図書委員による読み聞かせ
- ボランティアのお母様による読み聞かせ
- 読書活動推進員による読み聞かせとブックトーク

取組2 本を読むことの習慣化

- 朝読書の時間
- 読書冊数の目標の可視化(第1図書室のカウンター後ろに、鹿がその月の合計冊数によって、弥山の頂上に登って行くポスターを作成した。)
- 家庭読書のススメ(図書室だよりで、家庭への読書を啓発した。)
- 冊数に応じた景品配布(55冊 葉 100冊 下敷き 150冊 カード 200冊 ブックカバー)

取組3 読む力の育成

- 55冊達成者による、イチオシ本とその理由を書いた「55冊の木」を作った。
- 図書委員によるおすすめの本の紹介(ポップ作成)
- ビブリオバトル開催 (4年生 , 国語の授業に於いて)

取組4 読書環境の整備

○毎月、その月に因んだ本をデコレーション展示した。

4月 入学・進級	5月 母の日・子どもの日	6月 梅雨	7月 夏休み
9月 月見・運動会	10月 ハロウィン	11月 古典	12月 クリスマス
1月 お正月	2月 節分	3月 桃の節句	



クリスマスのコーナー



古典の日のコーナー

- 第2図書室に「映画化、ドラマ化された本」のコーナーと「芥川賞、直木賞受賞作」コーナー、「思わずジャケ借りしたくなる！?(表紙が素敵な本)のコーナー」を作った。
- 低学年向けのお話の本を手に取りやすいように、小上がりに配置した。



「芥川賞、直木賞受賞作コーナー」

廿日市市立廿日市中学校

～読む楽しさを味わう読書教育を目指して～

取組1 本を読むきっかけの提供

- ・新一年生の図書館オリエンテーション

(各クラス国語の1時間授業で、図書室の利用の仕方などを説明後、授業中に全員に本の貸出を行う。)

- ・「子ども読書の日」「古典の日」などイベントを通じた読書活動の普及

(「子ども読書の日」は各クラスの図書委員が読み聞かせを行い、「古典の日」は親しみやすい古典にまつわる本を展示。)

- ・推薦図書の紹介

(中学生に読んでほしい本・廿日市中学校先生おすすめの本などを紹介)

- ・学校と地域の連携

(読み聞かせボランティアさんによる読み聞かせ実施。)

各学年年間で4回程度、学年ごとに分けてほぼ毎月実施)



取組2 本を読むことの習慣化

- ・全校一斉朝読書(毎朝10分)

- ・定期的な図書だよりの発行

(今年度8回配布。新刊や人気本の紹介、貸出冊数の多い生徒やクラスを掲載するなど)

- ・学級文庫の収集(来年度から始める)

取組3 読む力の育成

- ・図書委員の取り組み

(本の紹介カード作成やビブリオバトルをするなど)

- ・広島学習・修学旅行の調べ学習

- ・夏休みに読書感想文の取組(全学年希望者)

- ・教科書「読書への招待」関連図書の紹介、本文と関連する別資料を比較して感想文を書く。



取組4 読書環境の整備

- ・学校図書館の充実

(毎月展示を変え、掲示物や配架などの工夫。計画的な新書購入と廃棄をするなど)



廿日市市立七尾中学校

～生徒が読書に関心を持ち親しめる取組～

取組1 本を読むきっかけの提供

○「図書委員・先生方のおすすめの本」のポスターの掲示

「図書委員、先生方のお薦めの本」についてポスターや紹介カードを作り、図書室の入口や図書室内、廊下の掲示板等に掲示し、本の内容やお薦めの理由、その本の魅力を伝え、読書に親しむきっかけを提供しました。



○ 全校生徒による「しおり」の作成

全校生徒で一人一枚、お薦めの本の「しおり」を作り、文化祭で展示しました。心に残った場面や言葉からイメージしたイラストを描くなど工夫して作りました。作品は、はつかいち市民図書館でも掲示していただき、返却後は各自で利用しました。

○「子ども読書の日」文芸書道部の生徒による読み聞かせ

「子ども読書の日」にちなんで、昼休みに図書室で本の読み聞かせを行いました。今年度は文芸書道部の生徒による読み聞かせで、登場人物になりきった表現力豊かな読み聞かせに、生徒達も興味深く聞き入り、本を読むことへの関心を高めることができました。



取組2 本を読むことの習慣化

○「全校一斉朝読書」

図書委員が朝読書の開始時間の2分前に教室の前に出て全校生徒で「朝読書」に取り組み、本を読むことの習慣化を図っています。

- **学級文庫の設置** 各教室に学級文庫を設置して、図書委員が学期ごとに本を入れ替え、日常的に本に親しめる環境をつくっています。

取組3 読む力の育成

○ 全校生徒で読書会（集団読書）

図書委員会主催で、朝読書の時間に学級で同じ本を読み読書会を持ちました。事前に用意した質問例を参考に、班で感想を交流し、読みを深めることができました。

○ ビブリオバトルの実施

図書委員会主催で朝読書の時間を活用してビブリオバトルを行い、各班でチャンプ本を選びました。本の面白さを紹介し合うことは、読む力の育成にもつながりました。



取組 4 読書環境の整備

○ 時節に合わせた展示コーナーの設置

「古典の日」等，行事や身近な出来事等に合わせて，読書活動推進員の先生が関連の本の展示コーナーを作ってください，生徒も興味を持って本を手に入れています。

「廿日市おすすめの本201冊」の冊子を各学級で紹介するとともに，図書室に本を展示しています。



廿日市市立阿品台中学校

～「読書習慣を促す取組」と「読書の質を高める取組」～

阿品台中学校では、「読書習慣を促す取組」と「読書の質を高める取組」を進めています。昨年度に引き続き、これらの定着をはかる取組をまとめて紹介したいと思います。

取組1 本を読むきっかけの提供

○ボランティアの方々による読み聞かせ（全学年）

全学年、毎月1回程度朝読書の際に、ボランティアの方々による読み聞かせを行っています。発達段階に応じて本を選んでいただいております。心に残る作品に出会うことにつながっています。



○図書だより（図書委員会）

毎月1号、図書委員による図書室からのお知らせとともに、図書委員からのおすすめ本のあらすじを紹介しています。

○しおりコンクール（図書委員会主催・全学年）

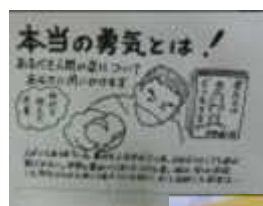
図書委員主催で、しおりコンクールを行っています。しおりには、これまで読んだ本のあらすじや、読書に関する言葉やイラストを描いて応募してもらいます。その後、投票を行い、優秀な作品は来年度図書室で配布するしおりのデザインにしています。



取組2 本を読むことの習慣化

○読書レビューラリー（図書委員会主催・全学年）

読書週間に合わせて、読んだ本のあらすじや見所を紹介する取組をしています。レビューを掲示したりすることで意欲を喚起して、図書室の来室数や貸出冊数を増やします



○読書マラソン（図書委員会主催）

10月下旬の3週間、どれだけ本を読んだかを、本を読んだページ数を数えて、クラス単位で集計する取組を行いました。1人ずつに「読書マラソンカード」というスタンプラリー形式の集計表を渡しておいて、毎日の記録をとり、図書委員がクラスの集計をします。

取組3 読む力の育成

○中国新聞社からの新聞提供（全学年）

「みんなの新聞コンクール」に出品したことから、新聞を各クラスに1部ずつ配置し、休憩時間などに社会の動きに触れる取組をしています。社会科だけでなく、国語科、進路学習などさまざまな学習につながる取組となっています。



○みんなの新聞コンクール出品（全学年）

社会科では、学年ごとに単元とリンクさせ、テーマに応じた情報収集と、新聞作成のための資料提供を行いました。3学年では、新聞資料の提供も行い、授業と連携を進めました。

○日めくりカレンダー～心に残った詩・名言～（1学年）

4月に各クラスで、心に残る、他の人に紹介したい詩や名言の入った日めくりカレンダーを一人一枚作成しました。この時、図書室から各クラスに本を貸し出し、様々な作品に触れながら、心を豊かにする取組へとつなげることができました。

取組4 読書環境の整備

○展示図書の工夫

図書委員からのコメントを書いたおすすめ本コーナーや、季節の行事や古典の日になんだ展示コーナーをつくり、興味のある本を手に取りやすくするための工夫をしています。



廿日市市立野坂中学校

～「たくさん読む」ための取組～

取組 1 本を読むきっかけの提供

- ・「子ども読書の日」「古典の日」の取組

「子ども読書の日」に校内放送で図書委員による読み聞かせを行い、図書室では近・現代文学作品の展示を行った。「古典の日」に関連して、文化祭で生徒の投票により「野坂中百人一首ベスト」を決めた。



- ・教員のお薦め本の展示

読書週間に合わせて、教員のコメントと一緒に展示し、生徒は関心を持って図書を借りるようになった。

- ・ボランティアによる読み聞かせ講習会

絵本の読み聞かせについて、3年生を対象に保育実習の前に行った。



取組 2 本を読むことの習慣化

- ・多読者表彰

月ごとの貸出冊数を学級別・個人別に校内に掲示し、学期ごとに貸出冊数の多い生徒を表彰した。

取組 3 読む力の育成

- ・ブックカードコンテスト

入賞作品は、はつかいち市民図書館で展示後、図書室で図書の紹介に活用されている。

取組 4 読書環境の整備

- ・新聞の切り抜き、図書委員作成の図書新聞、生徒のブックカードなどを利用して、季節感や話題性のあるものを取り上げて、図書を紹介している。

廿日市市立四季が丘中学校 ～生徒同士が伝え合う本の魅力～

取組1 本を読むきっかけの提供

- ・読み聞かせの実施
→読書ボランティアだけでなく、生徒自身が教室で読み聞かせを行う。
- ・推薦図書を選定、紹介
- ・「子ども読書の日」「古典の日」の取組



取組2 本を読むことの習慣化

- ・朝読書の実施（継続的取組）
- ・図書だよりの発行（生徒・保護者への啓発）



取組3 読む力の育成

- ・本を紹介する取組（ブックカード、ポップなど）
- ・「発表する」機会の充実（国語科との連携）
→スピーチの実施
→学校図書館にある劇台本を選定し、批評、プレゼンする活動

（ブックカードコンテスト）



取組4 読書環境の整備

- ・学校図書館の配架の工夫
- ・掲示物の充実

（3学年国語科 台本プレゼンの様子）

廿日市市立佐伯中学校

～たくさん読もう！図書委員による紹介の活動を中心に～

取組1 本を読むきっかけの提供

- 「古典の日」の取組
 - ・古典の日の紹介
 - ・「俳句の説明」展示
 - ・俳句コンテスト実施（文化祭）
 - ・国語科「恋の短歌」作成展示（文化祭）
 - ・国語科「竹取物語」姫から翁・嫗への手紙を書き展示（文化祭）



文化祭俳句コンテスト

- 本の紹介関係
 - ・図書委員によるPOP作成
 - ・図書委員による「おすすめの本」コーナー
 - ・国語の授業におけるPOP作成
 - ・図書委員による「子ども読書の日」に向けた絵本朗読
 - ・読書ボランティアによる読み聞かせ（月1回）



文化祭俳句コンテストにおける投句

取組2 本を読むことの習慣化

- 朝読書（10分間・週5日）
- 学級文庫の設置及び学期ごとの本の入替え
- クラス対抗「本貸出冊数競争」の実施
 - ・学期ごとに優勝クラスのリクエスト本を購入
 - ・学年別年間個人表彰（1～10位）しおりプレゼント

取組3 読む力の育成

- 記述を根拠に登場人物の人柄や心情をとらえる学習活動
- グラフや図と本文を関連付けて読む学習活動
- 複数の文章を比較し、文章の特徴をとらえる学習活動
- 書かれた文章を読み直し、推敲する学習活動



図書室前掲示板で図書委員によるPOP掲示

取組4 読書環境の整備

- 図書室前のテーマ展示
 - ・「命の大切さについて考える日」
 - ・「古典のこころ」
 - ・「月見」 ・「クリスマス」 ・「正月」
 - ・「節分」 ・広島カープ新井選手引退
 - ・さくらももこさん
- 十進分類法にそった蔵書の並び替え
- 読書活動推進員による図書室掲示（季節による紹介コーナー）



図書委員によるPOP（上）、3年生によるPOP（下）。下の作品はさいき図書館にも展示されました。

廿日市市立大野中学校

～本を読んで説明する力をつけよう～

取組1 本を読むきっかけの提供

- ・NDCの分類ごとに分けたボックス展示の作成（4月）
→新年度の読書スタート時にこの展示を利用する事で、興味や目的に応じた本を、分類記号を意識して探せるようになるとともに、文学に偏りがちな読書の幅を広げることをねらいとした。
- ・「古典の日」の取組
→古典の本セットを学級文庫としてクラスに貸し出し、古典作品に興味をもつ機会をつくった。
- ・おはなし会
→昼休みを利用して、図書室や教室前廊下で心の教室相談室支援員による読み聞かせを行い、本にふれる機会とした。



取組2 本を読むことの習慣化

- ・朝読タイム（月曜～水曜 8:20～8:30）※木金は視写
- ・図書委員による朝読の呼びかけ



取組3 読む力の育成

- ・図書委員会によるPOP作成
→図書委員と担当教員が、読んだ本の面白さを他者に伝えることを意識し、それぞれ工夫してPOPを作成し展示した。それを目にした生徒が、今まで読まなかったジャンルの本を手取るなどの効果があった。
- ・小・中学生に向けた本の紹介展示コーナー
→CSWでの活動の一環として、小中学生共有スペースに壁面制作を仕上げた。小中両方の図書室から選書し、イラストやキャッチコピーを工夫して本の面白さを伝えるポスターを作った。



取組4 読書環境の整備

- ・学校図書館の掲示物や配架の工夫
→委員会の取組や季節ごとの特設コーナーを設けている。



廿日市市立大野東中学校

～生徒が、かけがえのない1冊に出会えるための取組～

取組1 本を読むきっかけの提供

- 図書委員によるおすすめの本の紹介



図書委員や有志によるブックマークコンテストも毎年恒例になりました。

図書委員のおすすめの本を実際に手に取れるコーナーです。



- 読書ボランティアによる読み聞かせ

みんな集中してボランティアの方のお話を聞いています。小さい頃に読んでもらったことのある絵本の読み聞かせも人気があります。



- タイムリーなおすすめの本の特集



その時期話題になっている出来事に関連した図書を展示し、生徒の読書意欲を喚起します。

芥川賞、直木賞もすぐに新聞記事を紹介し、受賞作家の作品を展示します。

取組2 本を読むことの習慣化

- 朝の一斉読書

朝のSHR前の10分間、静かに本を読みます。普段なかなか本を読む時間を作ることができなかった生徒も、朝の一斉読書がきっかけで本を読むようになりました。

取組3 読む力の育成

- 読書感想文コンクールへの参加

学校独自の課題図書を選定し、読書感想文を書く活動を行いました。読んだことをもとに書く機会を作りました。

取組4 読書環境の整備

- 図書室の掲示、特設コーナーの整備。学級文庫の整備。校内掲示の工夫。



平成30年度 読書活動推進に係る取組 《廿日市市教育委員会》

H30子ども司書養成講座

6月	7月	8月	9月	10月	11月	2月
全体研修①	実地研修	(地域の図書館)	全体研修②	秋の活動	(地域の図書館) および学校	認証式

読書活動を推進するリーダー(子ども司書)を養成する講座です。子ども司書が学校や地域で読書の楽しさや大切さを広めることで児童の読書活動の充実を図るとともに、学力向上を図ることを目的としています。この講座は平成25年度から市主催で実施しています。本年度は15名が受講しました。
(対象：小学6年生)

全体研修



全体研修では、ビブリオバトルをしたりPOPや図書館案内を作ったりしました。読書好きを増やすための話し合いでは様々な意見が出されました。

実地研修は、各図書館及び学校での研修です。カウンター業務や配架、本の修理などをしたり、読み聞かせをしたりしました。

実地研修・秋の活動



全員「子ども司書」に認定されました!

【児童の感想から】

- 子ども司書の活動を行って、さらに本とのつながりが広がった。
- 本の読み聞かせをして、「面白かった!」と言ってもらえてうれしかった。
- 司書の仕事は、みんなに本に興味をもってもらえるよう、様々な工夫や知恵が必要であることを学んだ。



H30読書活動推進員研修

市内小・中学校に読書活動推進員を配置しています。今年度は2回、児童生徒が図書に親しむための読書活動推進のあり方について研修しました。



第1回目は、ブックトークの演習や神田智恵子さんによる実践報告を行いました。アイデア満載の取組から多くのことを学ぶことができました。

第2回目は、「不読率0を目指して」の協議や子どもの特性と関わり方についての講話を行いました。

